

台灣軍管區司令部

台灣軍管區司令部

台灣軍管區司令部

終戰後犯罪

考 備	昭和三十年 十一月二十日	裁判宣告 年月日	臺灣軍管區臨時軍法會議 豐部隊法廷裁判宣告報告		
	業務補領	處斷罪名			
	懲役一年	刑名 刑期 金額			
	昭和三十年 十一月十六日	公訴提起 年月日			
	定切盜	起訴罪名			
	懲役一年	檢察官 刑名 金額			
		拘留 日數			
	補充兵 上等兵	被告 身分			
		姓名			

提出
部隊

第二十八師團司令部

21.6.4

4

局

本籍

所屬 第二十八師團 第二野戰病院 第二半部

第一補充兵 陸軍衛生上等兵

判決

右者ニ對スル業務横領、窃盜被告事件ニ
付當法廷ハ檢察官職務取扱陸軍
憲兵大尉武田武一閣與審理ヲ遂ケ判
決スルコト左ノ如シ

主 文

被告入ヲ懲役一年ニ處ス

理由

被告入ハ昭和十九年八月應召シ同年
十月五日第二野戦病院第二半部要
員トシテ宮古島ニ上陸シ同月七日所
属病院開設ノ爲伊良部島ニ渡リ
糧秣受領係ヲ命セラルアリシカ昭和二十
年六月十四日宮古島陸軍病院ト合
同勤務トナリ沖繩縣宮古郡平良野
字鏡原所在宮古島陸軍病院ニ於テ

炊事勤務ニ服務中
第一自己ノ糧秣受領係或ハ經理科倉庫物品監視係ナルヲ奇貨トシ犯意

継続シテ

一、昭和二十年八月中旬宮古郡城辺村

扭子

更竹師團[■]獸醫西部屠獸班ヨリ

馬肉約四斤ヲ受領歸院途中

増原附近ノ氏名不詳ノ民家ニ於テ

右馬肉二斤ヲ或モ於園ニテ賣却シ

慰安所ニ於テ遊興消費シ

二五加八

二昭和二十年九月一日前部陸軍

病院一部八冲繩縣城辺村字土底

二移轉之被告人王同時二移轉引続

キ糧秣受領係二服務セル力同年

十月二日冲繩縣宮古郡平良町字

野原越所在仕貨物支廠ヨリ金花

糖六十斤ヲ受領之右金花糖中

二斤ヲ翌三原陸軍病院二

携行途中該金花糖ヲ

ニ武格園ヲ賣却シ

慰安所ニ於テ遊興消費シ

三、昭和二十年十月六日頃神繩縣宮古

郡平良町字細竹所在歩兵第三十

聯隊ヨリ四軒ノ民家ニ保管ヲ依

託シアリタル米三千斤ヲ右聯隊ヨリ

受領セルカ四軒中ノ

尾

ニ保管依託シアリタル米一俵ヲ受

領時隱匿シ三日後右

賣却シ

四

昭和二十年七月下旬ヨリ前部病

院ノ經理科倉庫ノ物品監視ノ

為同倉庫ニ寢泊リシアリタルヲ以

テ同年八月上旬頃同倉庫ニ入り

タル敷布梱包中ヨリ四枚ヲ抜き取

リ一枚ヲ

ニ式格圖ヲ賣却残三枚ハ自己

ニ於テ使用スル目的ヲ以テ右
ニ對シシヤツ半ズボンノ仕立ヲ依頼シ
以テ業務上自己ノ占有スル官物ヲ横

領シ
第二犯意繼續シテ

一、昭和二十年八月二日頃右陸軍病院炊事場ニ出シアリタル玄米
四升ヲ窺取シ

所ニ於テ遊興消費シ
丹ニテ賣却シ慰安

二 同年八月上旬頃同炊事場ヨリ

玄米三升ヲ竊取シ第一第四項ノ

代金トシテ同 [redacted] 贈與シ

三 同月中旬頃同炊事事務室ニ

アリタル玄米一斗ヲ竊取シ前記

[redacted] 八拾円ニテ賞却シ慰

安所ニ於テ遊興消費シ

四 同年九月十日頃干時頃前記

鏡原残存陸軍病院炊事

事務室ヨリ玄米一斗ヲ竊取シ

右

八拾圓ニテ賣却シ

慰安所ニ於テ遊興消費シ

以テ窃盗ノ目的ヲ遂ケタルモノナリ

証拠ヲ案スルニ右判示事實ニ實ハ被

告人ノ當法廷ニ於ケル判示同旨ノ供述

ニ依リ犯意繼續ノ点ハ被告人カ短期

間内ニ同種犯行ヲ反覆累行シタル

事跡ニ徴シ之ヲ認定ス

仍テ右判示事實ハ其ノ證明十分ナリ

トス

法律ニ照スニ右判示所爲中第一点ハ
刑法第二百五十三條同第五十五條第二
点ハ同法第二百五十五條同第五十五條
ニ該當スルトコ右ハ併合罪ナルヲ以テ
同法第四十五條第四十七條第十條ニ
別リ重キ業務横領ノ罪ニ法定ノ加重
ヲ爲シタル所定刑期ノ範圍内ニ於テ
被告人ヲ懲役一年ニ處スルモノ
トス
仍テ主文ノ如ク判決ス

昭和二十年十一月二十日

台灣軍區臨時軍法會議

豐部隊法廷

裁判長判士陸軍少佐 玉木峯司

判士陸軍少佐 那須憲三

法務官代理
裁判官職務取扱陸軍中尉 鈴木正長

右終末也 同日於口誌

録事職務取扱

陸軍曹長